

質問順位	3	質問者	柴田文男議員		
件名	項目	要旨		メモ	
1. 市長の基本姿勢	1. 人口減少下におけるまちづくりについて	<p>1. クマ出没問題の一つの要因、あるいはまた大分大火災の一つの要因として、人口の減少による農地や宅地の空洞化、空き家や雑草地の拡大などが挙げられています。近隣市町では体長2メートルを超えるヒグマの目撃情報や廃屋の倒壊、雑草地の拡大などの問題がいとまなく聞こえ、人口減少問題が様々な形を成して、この地域の社会生活に大きな悪影響を与えています。今後人口減少問題がさらに形を変え、住民生活に悪影響を与えるかもしれません。あらゆる可能性について研究を行い、先手を打つことが重要であるが、この現状についての市の見解を伺う。</p>			
		<p>2. 人手不足の折、中空知の中核都市の責任において、人口減少対策を専門とする組織の構築と設置が必要と思われる。例えば中空知全体の問題でもあることから、広域圏事務局の専門部局として設置し、構成市町から人的配置を求めることも必要と思われるが、市の考えを伺う。</p>			
	2. 砂川地区広域消防組合と統合合併の取り組みについて	<p>1. 大分の大火を見るにつけ、人口減少や高齢化による様々な問題が噴出し、事の重大さを改めて認識した。滝川、砂川の両広域消防組合の統合については、これまでも水面下で関係者が検討し、その度にお蔵入りしたようだが、本状況下においては将来に憂いを残すことのないよう、しっかりと両組合間で今後の地域の防災に的確に対応するため、互いの足りぬを補い、住民の将来を守るため、大同につく準備を行うことが何より重要なことと思うが、構成自治体としての市の考えを伺う。</p>			